

009	From Editor
011	表紙の時計／ヴァシエロン・コンスタンタン・トラディショナル・マニュアルワインディング
012	Editor's Choice! クリスティアン・ヴァン・デル・クラウウ、アリアドネ、 シャウボーグ、ムーンアヴェンチュリン、 ボーム&メルシエ、クリフトン、ボーマティック、デイデイトムーンフェイス、 ロンジン、フレッジシップ、ヘリテージ、 フレデリック・コンスタント、クラシック、パワーリザーブ、ビッグデイト、マニユファクチュール、 シチズン、アテッサ、エコ・ドライブ、電波時計、ダイレクトフライト、 世界は時計で回っている。
018	
020	ローラン・フェリエ、エッセ、スポーツ・オート・ブル、クラシック、マイク、ローター・オートム、 高級時計製造の伝統と先端技術の融合から生まれる正統派
024	ブルガリ、オクト、ローマ、セントラル、トゥールビヨン、パピヨン、オクト、ローマ、フレシャストゥールビヨン、ルミエール、モネーテ、カテーネ、 ジュエリーの発想とイタリア流自由さから生まれる創造
027	手仕事の伝統をいまに伝える腕時計のもうひとつの世界 Part 1 — ハイ・ジュエリー・ウォッチ 華麗なる煌めきの競演
035	手仕事の伝統をいまに伝える腕時計のもうひとつの世界 Part 2 — メティエ・ダール 繊細な手作業が生み出す腕時計のアート
049	ルイ・ヴィトン、Xアクリヴィア、L V R R 01 クロノグラフ・ア・ソヌリ、 独立時計師との協働から開かれる可能性の扉
053	グラスヒütte・オリジナル 正統派のジャーマン・ラグジュアリー！ ウォッチとして発展を遂げる

グラスヒütte・オリジナルの「セネタ・エクセレンス」のふたつの新作とともに、これらに搭載される新世代ムーブメントの Car. 36の24日間にわたるテストを取り上げる。また時計師出身のCEOのローフレッド・フォン・キース氏に書面でお話を伺った。

061

カシオ「ドリームプロジェクト第2弾 G'DOOD1」

## 若手の力が完成させた未来への幕開け

昨年12月、カシオはGショック40周年を記念した「ドリームプロジェクト第2弾」で製作したフルゴールドのG'DOOD1をチャリティ・オークションに出品した。落札価格はおよそ5800万円で推定価格を大きく上回る結果となった。この開発に携わった方々取材した。

065

セイコーエプソン「オリエントスター」

## 先端技術の力を得て新たなステイジに向けて邁進中

2017年、オリエントはセイコーエプソンと経営統合を行い、新たな道を歩み始めている。特に2021年に発表したシリシウム製ガンギ車はセイコーエプソンの技術を活用したもので、統合の大きな成果であった。オリエントスターを中心に今日のオリエントを探ってみよう。

076

## 2023年10月～2024年2月発表のブランド別新作情報

095

日本新上陸ブランド

バーン、シンギュラリティ、ジェラルド・チャールズ

098

## 腕時計新着情報

102

シヨパール・アルパイン・イーグル・ファウンデーション

## スイス・アルプスのイヌワシ保護のためのプロジェクト始動

103

レコールジュエリーと宝飾芸術の学校主催「ダニエル・ブラッシュュ展・モネを巡る金工芸」

## ジュエリーと芸術の関係性を問いつけたアーティスト

104

スイスの時計産業と日本を繋ぐスイス時計協会(FH)第11回

106-112

インフォメーション／問い合わせリスト／次号予告

ローラン・フェリエ、スポーツ・オートブルック、クラシックマイクロローターオートムック

**高級時計製造の伝統と先端技術の融合から生まれる正統派**  
腕時計愛好家たちの間で広く知られるローラン・フェリエは日本での輸入代理店がスイスプライムブランズに替わり、東京・日本橋のタカシマヤウォッチメゾンにコーナーを設けるなど、新しい展開が始まっている。代表的なモデルとメゾンの概要を見てみたい。



「スポーツ・オート ブルー」。直径41.5mm×厚さ12.7mmのグレード5のチタニウム・ケースにマイクロローター式自動巻きのCal.LF270.01 (31石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約72時間。スイスレバー式脱進機)を搭載する。サファイア・クリスタル・バック。120m防水。グレード5のチタニウム・ブレスレット。価格871万2000円。

ローラン・フェリエは2009年に創業し、翌年のバーゼルワールドで最初の時計としてダブル・バランス・スプリングを装備する、クラシック・トゥールビヨン<sup>®</sup>を発表した。いわば「新参者」ではあったが、創業者のローラン・フェリエ氏がパテック・フィリップで40年間近くムーブメントの開発に携わり、その経験に基づいて作られた時計が愛好家たちの目を惹いたことは確かだ。

ローラン・フェリエの時計は角がなく、それ故にやさしさや温かみを感じさせる。小石を意味する「ガレ」をキーワードとするゆるやかな曲線に包まれたケースは19世紀の懐中時計に範を得たという。リュウズもケースと調和するように丸みがあるボール型である。搭載するムーブメントのパーツには細部に至るまで伝統的な手作業による装飾や内角の仕上げが施される。このような外装のデザインやムーブメントの仕上げのクラシカルな要素はローラン・フェリエの魅力のひとつにちがいない。しかしそれに加えて今日の

技術を積極的に採り入れている点も注目される。ローラン・フェリエの技術的な特徴のひとつであるダブル・ダイレクト・インパルス脱進機はふたつのガンギ車がテンプに直接、インパルスを与え、エネルギー効率を高めている。これはアブラアン・レイ・ブレゲが考案したナチュラル脱進機に着想を得ているが、シリシウムやLIGA製法という最先端技術によって実現されたものである。こうして「歴史からインスパイアされた、現代の技術で作られた時計」をラインアップする。

「スポーツ・オート」は2022年に登場したスポーティなコレクションであり、創業者のローラン・フェリエ氏のレーシング・ドライバートとしての経歴に因んで誕生した。ケースとブレスレットにはグレード5のチタニウムを採用し、ねじ込み式のボール型のリュウズを備えて120mの防水性能をもつ。ミドル・ケースはトノウ型で表面に垂直方向にサテン仕上げを施し、ベゼルにはサーキュラー・サテン仕上げ、ケースの側面には鏡面仕上げが

腕時計のもうひとつの世界 Part 1 — ハイジュエリー・ウォッチ

# 華麗なる煌めきの競演

機械ではなし得ない、職人の手の繊細な動きと勘から生まれる宝飾細工は伝統によって培われたものに他ならない。ハイエンドの時計ブランドはこうした装飾技巧にも力を入れ、ごく限られた数の華やかなタイムピースの製作を行っている。パテックフィリップ、オーデマピゲ、ブレゲの新作を見てみたい。

腕時計のもうひとつの世界 Part 2 —— メテイエ・ダール

# 繊細な手作業が生み出す腕時計のアート

フランス語で「匠の技」という意味をもつメテイエ・ダール (Metier d'art) という言葉は高級時計製造の世界で定着した。携帯できるまでに小型化した時計を身に着けるようになると、そこに装飾の要素が加えられた。クォーツ・ショックにより衰退の一途を辿ったが、今日、再びこの手作業による技法に力が注がれる。それは手が生み出すアートの伝統を将来に継承する努力でもある。その代表例を新作から取り上げた。



ルイ・ヴィトン × アクリヴィア LVRR 01 クロノグラフ・ア・ソヌリ

# 独立時計師との協働から開かれる可能性の扉



2023年、ルイ・ヴィトンは独立時計師と共に時計を創造する、という新しいプロジェクトをスタートした。その第1回目は時計師レジエップ・レジエピ氏が率いるアトリエ・アクリヴィアとのコラボレーションである。ルイ・ヴィトンの時計製造の歴史は四半世紀に満たない。だからこそ縛られることなく、自由に大胆な試みに挑戦できる。それは機械式時計の伝統を次世代に継ぐための努力でもある。

グラスヒュッテ・オリジナル

# 正統派のジャーマン・ラグジュアリー・ウォッチとして 発展を遂げる



グラスヒュッテ・オリジナルは2023年8月に「セネタ・クロノメーター」、同年10月に「セネタ・エクスレンス」のパーペチュアルカレンダーとパノラマデイト・ムーンフェイズに新作を加えた。ドイツらしい堅実さを感じさせるこれらの時計とともに、グラスヒュッテ・オリジナルを改めて見てみたい。



「セネタ・クロノメーター」。直径42.0mm×厚さ11.4mmの18Kホワイトゴールド・ケースに手巻きのCal.58-08 (58石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約44時間)を搭載する。ドイツのクロノメーター認定取得。サファイア・クリスタル・バック。5気圧防水。価格488万4000円。



カシオ ドリームプロジェクト第2弾「G・D・O・O・1」

# 若手の力が完成させた「未来への幕開け」

2023年12月10日、ニューヨークで開催されたファイリップス主催のオークションでこのために製作された18KイエローゴールドのGショックが40万50ドル(約5800万円)で落札された。その金額も驚くべきものではあったが、ゴールドを纏ったまったく新しい形状のGショックそのものが大きな衝撃だった。それはGショックの未来を予感させた。この時計の開発に携わった3人にその背景を伺った。



セイコーエプソン「オリエントスター」

# 先端技術の力を得て 新たなステージに向けて邁進中



2021年3月、オリエントスター誕生70周年を記念して、クラシック・コレクションからスケルトンが発売された。そこに搭載されたのはシリシウム製ガング車を装備した新キャリバーであり、オリエントスターブランドでは初めてのシリシウムの採用だった。この背景には2017年にオリエントを経営統合したセイコーエプソンのMEMS技術がある。いま、オリエントは新たな道を歩み始めている。

ワールド・ムック1317  
WORLD WRIST WATCH

KESAHARU IMAI  
Publisher

TOMOKO KAYAMA  
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI  
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA  
Production Director

HIROSHI SASAGAWA  
Circulation Manager

DTP  
BASE

Cover Photo/  
Takenori Aoki (WPP)

●本誌に掲載されている価格は  
令和6年2月29日現在の調べによるものです。  
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。  
© WORLD RHOTO PRESS 2024

## 【次号予告】

# 「ウォッチズ&ワンダーズ ジュネーブ 2024」、その他

4月9日から4月15日にかけてジュネーブのパレクスポで開催されるウォッチズ&ワンダーズには昨年よりも6ブランド多い54が参加し、新作をお披露目します。今回は一般開放日も1日増えて3日間となり、多くの消費者への訴求が図られていることが窺えます。ここで発表される新作の概要をブランド別にご紹介します。併せて同時期にジュネーブ市内で行われる単独あるいは複数のブランドによる発表会、そして日本でお披露目された新作を取り上げます。

## いま注目したいブランド、そして時計

手に届きやすい価格帯で展開するレイモンド・ウエイル、ユニークなアイデアで知られるアジムース、ドイツの独立時計師コーネルなど、注目したいブランドの概要とその製品をみてみます。また日本で販売を開始した新作のなかから注目されるモデルを撮りおろしの写真で紹介いたします。

「世界の腕時計」第160号は2024年6月10日発売予定です。

## 世界の腕時計 定期購読のご案内

### 毎号、送料無料でお届けします!

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方  
便利な定期購読を是非ご利用ください。  
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

#### 【年間購読料】

1年間(年4冊) **7,200円(税込)**

(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



#### 【お申し込み方法】

- お電話で(年中無休/9時~21時受付) **0120-223-223**
- インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoutedokei>
- QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

#### 【お問い合わせ】

富士山マガジンサービスカスタマーセンター  
パソコンサイト: <https://fujisan.co.jp/cs>  
メールの場合: [cs@fujisan.co.jp](mailto:cs@fujisan.co.jp)  
に、お問い合わせください。

#### ■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンサービスとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス総合サイト <https://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1317

# 世界の腕時計

No.159

令和6年4月15日発行

発行人……今井今朝春  
編集人……香山知子  
発行所……株式会社ワールドフォトプレス  
〒166-0004東京都杉並区阿佐谷南1-12-1  
アーク阿佐ヶ谷  
編集部……☎03-6383-2319 FAX.03-6383-2583  
メディアビジネス部  
……☎03-5929-7682 FAX.03-6304-9443  
販売部……☎03-6383-2390 FAX.03-6383-2574  
印刷所……大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら  
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。